

# 文化通信

## 速報

発行所・株式会社文化通信社 / 編集・発行人・渡邊裕二

平成31年3月19日(火) 第17026号

☆きよりのニュース

- ▽『映画プリキユア』2日間、ヒットスタート
- ▽『東映』映画『プリキユア』、2億5千万円を記録
- ▽『東宝』『君は月夜に』は2億円弱で好調の出足
- ▽一般1900円など一部券種で1000円値上げ
- ▽運営コスト上昇や設備投資負担増を受けて判断
- ▽T.O.H.O.シネマズ、映画鑑賞料金6月から改定
- ▽『映画プリキユア』2日間、2億4千万円のヒット発進
- ▽『東映』『翔んで埼玉』17日までの累計で興収20億突破
- ▽3日間興収6億1千万円、女性のファンも多く来場
- ▽『ドイツニー』『キャプテン・マーベル』大ヒット発進
- ▽『英国王』以来の作品賞10億円超え、各地で満席
- ▽『ギャガ』『グリーンブック』好調、興収11億円突破
- ▽『万引き家族』最優秀作品賞と作曲賞のW受賞輝く
- ▽『第13回アジア・フィルム・アワード授賞式』開催
- ▽日本からマコトヤ日下部代表参加、20〜23日に開催
- ▽伊・ベネチアで第9回カポスカリ国際短編映画祭
- ▽アニメ産業乏しい台湾からTAAAF最高賞等話題
- ▽クレスト『幸福路のチー』晩秋公開、CFも開始
- ▽新作『キャプテン』首位、『君は月夜』3位
- ▽プレコグ『映画館の座席数シェア』(16〜17日)
- ▽『東和P』『チャイルド・プレイ』、7月19日公開
- ▽『東宝東和』『ペット2』、中尾隆聖が吹替版続投
- ▽『東映』『ホットギミック』桜田ら追加キャスト発表
- ▽『日活』『まく子』好調発進、すでにリピーターも続出
- ▽『FOX』『ボヘミアン・ラプソディ』、12.5億円突破
- ▽『SPE』『スパイダーマン』、興収4億8千万円超える
- ▽『LVJ』、宝塚花組『CASANOVA』4月中継
- ▽『SPACEBOX』『バジュランギ』、6千万円突破
- ▽『SPE』『MIB』最新作、6月14日日米同時公開
- ▽『ネットフリ』、蜷川監督『フォロワーズ』20年初頭配信
- ▽『ハピネット』、『愛唄』BD&DVD、7月2日発売
- ▽『松竹』『決算!忠臣蔵』横山裕が不破数右衛門役で出演
- ▽『松竹』『東京喰種2』女優・知英がイトリ役で出演
- ▽『松竹』『パラレルワールド』劇場限定ムビチケカード発売

計報 内田裕也(ミュージシャン・俳優)



株式会社文化通信社 URL:<http://www.bunkatsushin.com/>

■住所: 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル10階 ■電話: 03-3214-6041 ■ファックス: 03-3214-5466

■メール: [info@bunkatsushin.com](mailto:info@bunkatsushin.com) ■ツイッター: <https://twitter.com/bunkatsushin> ■フェイスブック: <http://www.facebook.com/bunkatsushin>

文化通信 (速報) 31年3月19日 (17026号) 第三種郵便物認可

◎『万引き家族』最優秀作品賞と作曲賞のW受賞輝く  
「第13回アジア・フィルム・アワード授賞式」開催

アジア全域版アカデミー賞「第13回アジア・フィルム・アワード」の授賞式が17日、香港TVB Cityで開催された。『万引き家族』が最優秀作品賞・作曲賞(細野晴臣)の2冠。役所広司が『孤狼の血』で最優秀主演男優賞と、これまでの功績を称える「Excellence in Asian Cinema Award」。塚本晋也が『斬、』で最優秀編集賞。日本映画勢が主要部門で多数の最優秀賞に輝いた。

◎日本からマコトヤ日下部代表参加、20〜23日に開催  
伊・ベネチアで第9回カポスカリ国際短編映画祭

イタリア・ベネチアの第9回カポスカリ国際短編映画祭が現地時間20〜23日開催される。第一回から実行委員を務めてきたマコトヤ代表取締役・日下部圭子氏が渡伊、世界中から集まる若い映画人らと親交を深める。同映画祭は、2011年から毎年3月に開催。日本の実写・アニメ映画の研究者であり、国立ベネチア大学で日本映画を教える教授でもあるロベルタ・ノヴィエツリ氏が、映画を学ぶために各国から大学にやってくる学生たちのために始めた映画祭。ヨーロッパ初の大学が主催する映画祭として誕生した。すべての現場運営を同大学の学生が行う。

第9回の「インターナショナルコンペティション」では、学生が作った30作品を紹介。世界114の国と地域から3400作品超が集まった。グランプリ、特別賞、レヴィイ賞(映画音楽賞)、パテ・サバリー賞(多民族性をテーマにした作品)などを決める。今年も、テレサ・カヴィーナ(ローマ映画祭など国際映画祭のプロデューサー)、アヤト・ナジャフィ(イランのドキュメンタリー監督)、ウロ・ピッコフ(エストニアのアニメーター)の3氏が審査を行う。過去、2014年に日下部氏、2016年に清水崇氏が審査員を務めた。■特別企画では、『髪結いの亭主』『仕立て屋の恋』などのパトリス・ルコント監督によるマスタークラスを実施。また、イタリアの実験アニメーター、レオナルド・カラノのマスタークラスや、インドの女性監督マリーリア・セイド作品の上映なども行う。■コラテラル・コンペティションでは、世界の高校生作品を上映する「オルガ・ブルナー・レヴィ賞」、3回目のMVコンペを実施。また、作品を発表すると同時に金銭に換えていくことを目的にした「未来のクリエイター」部門を新設した。

▽訃報 内田裕也(ミュージシャン・俳優)が、17日(日)午前5時33分過ぎ、肺炎のため、入院先の都内病院で死去。享年79。

内田裕也さんは、1939年11月17日生まれ。兵庫県西宮市出身。1959年、日劇「ウエスタン・カーニバル」でデビュー以来、日本を代表するロックンローラーとして、また、映画の脚本やプロデューサー、46回にもわたる年越しオールナイトイベント「NEW YEARS WORLD ROCK FESTIVAL」をプロデュースするなど生涯を通じて多くの活動を行ってきた。

葬儀は、近親者のみの家族葬で執り行われる。後日、お別れ会を執り行う。了